

Chromebookを活用して授業改善を進めています!

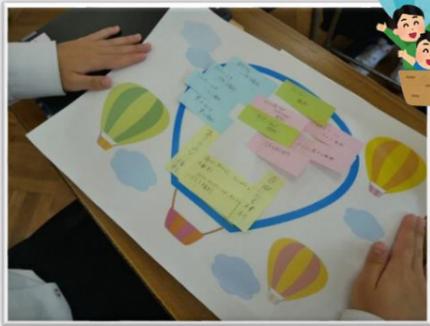
6月に入って、落ち着いた学校生活を送るとともに中体連、中文連に向けて取り組んでいるところです。特に3年生にとっては最後の大会、コンクールとなりますので、自分のパフォーマンスを最大限に発揮して満足いくものにしてほしいと願っています。先生方は、学力向上に向けて自らの授業改善に取り組まれています。クロムブックを文房具のように、あたり前に活用する授業が増えてきました。生徒たちの学びに向かう力を育成するとともに、主体的に学ぶ姿をめざして推進しています。

6月8日(水)3年生人権教育「権利の熱気球」



身近にある様々な権利について考えました。人が生きる上で欠かせない権利とは何か。集団生活の中で、互いの権利を尊重するためにはどのように行動したらいいのかを話し合いました。権利についての考え方に、人それぞれ違うことを知り、多様性や他を尊重する気持ちに気づいてくれた授業だったと思います。

生きていくために必要な権利を熱気球の燃料に例えました。自分が特に大切だと思う権利を付箋に記入しました。その後グループに分かれて、どうしてその権利が大切なのかと意見を交流し、様々な権利一つ一つにどのような意義があるのか考えました。発表している人の話を静かに聞く姿は、一人一人の人権を大切にしている行為でした。発表を聞いて新たに気づいたことを記入して、振り返りに生かしている姿も見られました。



6月9日(木)1年生特別の教科道徳



1年生道徳の授業で、松本先生が道徳の研究授業を行ないました。「釣りざおの思い出」という題材をとおして、節度ある行動について考えました。松本先生は、自分のやりたいことを優先した無責任な行動について、これまでの自分を振り返り、責任ある行動をもって、より良い学校生活をみんなで築けるようにしたいという願いから、今回の授業を実践されました。

資料は、釣りが大好きだった主人公の少年時代の話し。母が無理をして、少年がずっと憧れていた釣りざおを買ってくれた。そのさおで出かける日、父から「釣りは次の日曜日にして、いとこの正ちゃんが長い間入院し、容態がよくないのでお見舞いに行かないか。」という言葉を受け入れず、不満げな父をとりなしてくれた母とは軽い気持ちで帰宅時間を約束した。しかし、釣りに夢中になってしまい、途中で約束の時間が過ぎたことに気づいたものの、結局、「最後の一匹が釣れたら帰ろう」と釣りを続ける。帰宅し、釣果を母に見せようとしたが、母はバケツに見向きもせず、主人公から釣りざおを取り上げて固く握りしめた。

この資料を通し、約束の時間が過ぎたことに気づいた主人公が、「もう少し釣りをしたい」という気持ちと、「早く帰らなければ」という両方の気持ちをもちながらも釣りを続けてしまった場面での主人公の心情を中心に考え、約束や時間を守ることにについて考える授業を行いました。

6月9日(木)3年生進路説明会



3年生の進路決定に関わる今後の計画や入試制度、就職に関する内容をお知らせする説明会を実施しました。

3年生の皆さん、いよいよ進路選択の年になりました。進路選択とは、単に中学校を卒業したら、進学する、または就職するというものではありません。皆さんに

は、これからの長い人生を展望し、「自分は将来どのような職業につきたいのか。」「どのような生き方をしたいのか。」と自分の姿を見つめて考えてほしいと思っています。

しかし、私が担任をしていた頃、中学3年生のこの時期に「どうしたい?」と聞いても、はっきりと答えられる人は少なかったように思います。多くの人たちは自分の考えがまとまらずに、どうしたらいいのかと悩む人もいました。

そこで、大切にしてほしいことは「話す」ということです。お家の方と、自分が好きなことや得意なこと、自分の良さや可能性などについて話をしてください。そして、やりたいことや目標に向けて、どのような進路がとれるのか先生方と話しをしてください。話すことによって自分の考えがまとまり、どうしたらいいのか見えてきます。これから生徒の皆さんと保護者の方、先生方の三者が共通の認識をもちながら話しを進めていくことがとても大切になります。

進路決定までの期日は決まっていますので、それまでの計画を今から立て、準備を行ってコツコツと進めていく必要があります。後回しにしたい気持ちがあるかもしれませんが、現実としっかり向き合って行動しましょう。



他のことを考えずに、自分がやりたいことを優先してしまうことを深く考えないでいると、他の人や自分まで不幸になり、だれも笑えない結果になってしまうことが今回の授業でとてもわかった。欲望に負けないように良心をもってコントロールできる強さを身につけていきたい。自分の弱さを発見して、それを無くせるように努力していきたい。

授業の最後に振り返りを行ないました。1年3組の江坂 嶺志 さんの振り返りを紹介します。



6月10日(金)2年生技術科授業



横手先生が、ラディッシュを使った「栽培」の授業において、「収穫を良くするにはどのような栽培方法がいいのか」と探求的な授業が進められています。各グループで試行栽培を行い、その検証によって本栽培を行なう展開としています。まず、各グループで元肥の量を「少」「中」

「多」と、ラディッシュの芽が出た後に間引きを「する」「しない」の6つの組み合わせで、経過観察しながらデータを収集していきます。3週間後に収穫して、葉の大きさや実の大きさを確認します。各自作成したデータに基づいて、自分が考えた本栽培を行ないます。

同じやり方をしても、種によって成長が違ったり天候に左右されたり、気象と生育の関係にも気づくことができました。クロムブックで撮った生育記録や数値入力によって、生徒たちの思考が深まり探究心を向上させる授業となりました。



6月16日(木)1年生美術科授業



本校では、古賀市教育委員会研究指定の委嘱を受け、10月27日(木)に研究発表会を開催します。発表会に向けて美術科の山田先生が1年生の「手のデッサン」で提案授業を行ないました。

生徒たちは、自分が思い描く手を陰と影の技法を用いて、自分の世界に入って無言で没頭して描いていました。その姿は今の教育がめざす個性化が図られた授業でした。クロムブックで作品の仕上がり経過を確認しました。他の人との意見交流によって見直し、さらによいものをめざして取り組んでいます。今回の授業では、「振り返り」の工夫によって、自分の成長が実感できるように工夫されていました。デッサンを描き始めた頃の記録と見比べて、自分の作品に満足する声が聞かれました。

